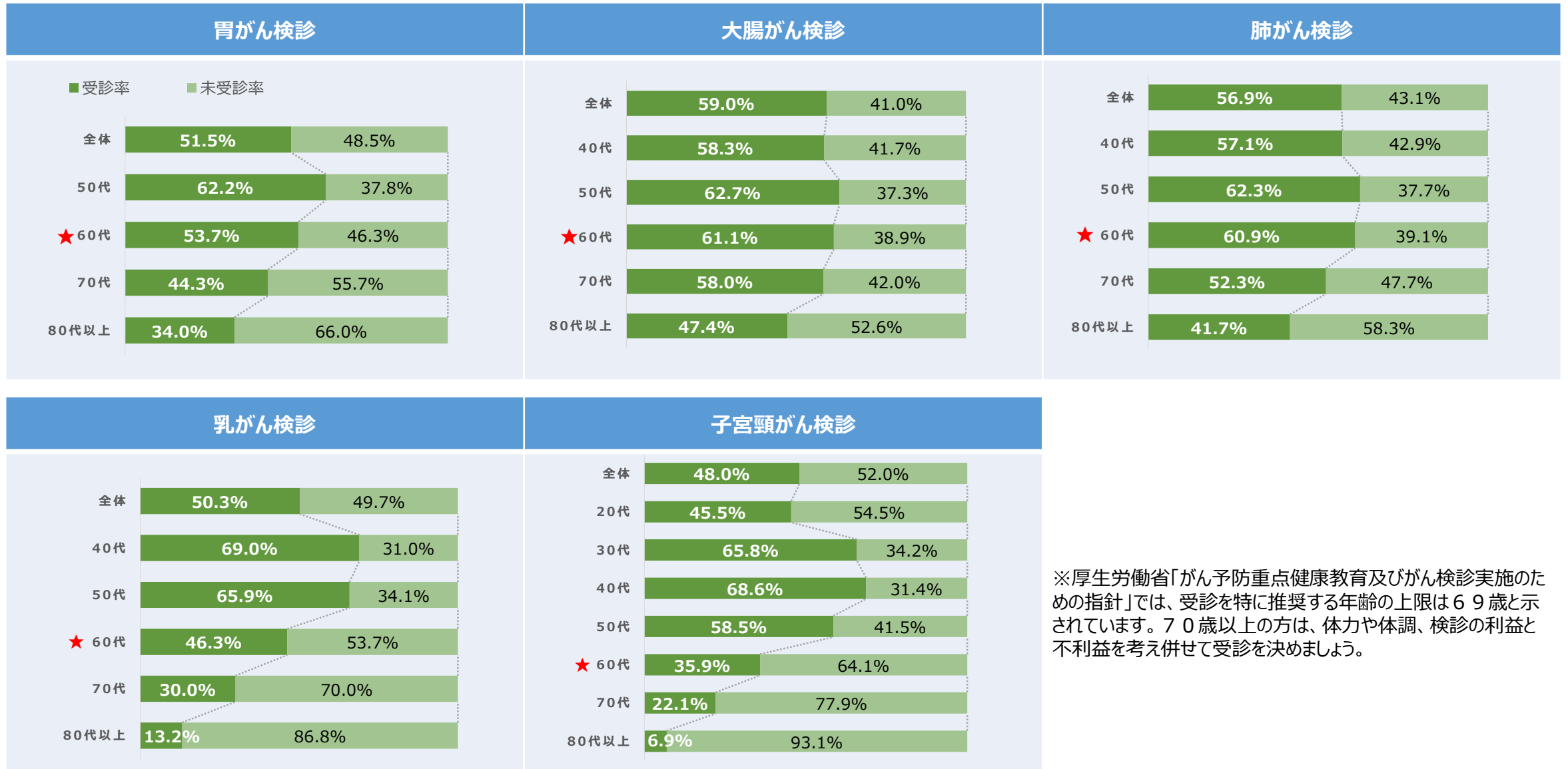


各がん検診の年代別受診率（令和2年度 健康増進法に基づくがん検診の対象人口率等調査）

●60歳代以降の受診率

全てのがん種（胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん）において、60歳代が低い傾向にある。



※厚生労働省「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」では、受診を特に推奨する年齢の上限は69歳と示されています。70歳以上の方は、体力や体調、検診の利益と不利益を考え併せて受診を決めましょう。